

## 屋島山頂への散策コース

屋島の頂上までは、主に 4 つの散策コースがあり、それぞれに景勝地や名所がある。

最もポピュラーなのは、湊元駅近くから始まる舗装された遍路道で、屋島寺まで続いている。片道約 1.5km で、所要時間は約 30 分。このルートは、有名な四国八十八ヶ所巡礼のお遍路さんが好んで通る道であり、巡礼のきっかけとなった僧侶空海（774-835）ゆかりの地が点在する。屋島のふもとには、空海が水を求めて祈ったときに地中から湧き出てきたという自然の湧き水「加持水」がある。遍路道は屋島寺の山門で終わる。

屋島の北側には、より険しい北嶺登山道があり、長崎の鼻の近くから遊鶴亭の展望台まで続いている。1.5km のコースで、所要時間は約 30 分だが、地面が凸凹しているので、誰にでもおすすめできる訳ではない。道中、五剣山や直島などの瀬戸内海の島々を眺めることができる。頂上の遊鶴亭からは、島々や海のパノラマが見渡せる。

歴史好きの旅行者は屋島の東側、屋島東小学校の近くから始まる「旧遍路道」を使って登山するのが良いかもしれない。現代の巡礼路と同様、この 1.8 キロの道の終点は屋島寺だ。40 分ほど歩くと、源平合戦（1180-1185）の際に若くして即位した安徳天皇（1178-1185）を祀る神社や、1185 年の屋島の戦いで指揮官のために命を捧げた武士、佐藤継信の記念碑がある。屋島寺から四国遍路の次の目的地である八栗寺に向かうお遍路さんが、下山する際によく利用する道でもある。

屋島西古道は、この 4 つの中で最も長く、最も難しいコースである。屋島の西側にある公園から始まる 2 キロのコースで、山頂までは約 40 分かかる。急で凸凹した坂道が続くが、高松市内を一望できる展望スポットがいくつもある。

屋島山頂までの自動車道路「屋島スカイウェイ」は、歩行者も通行可能だ。